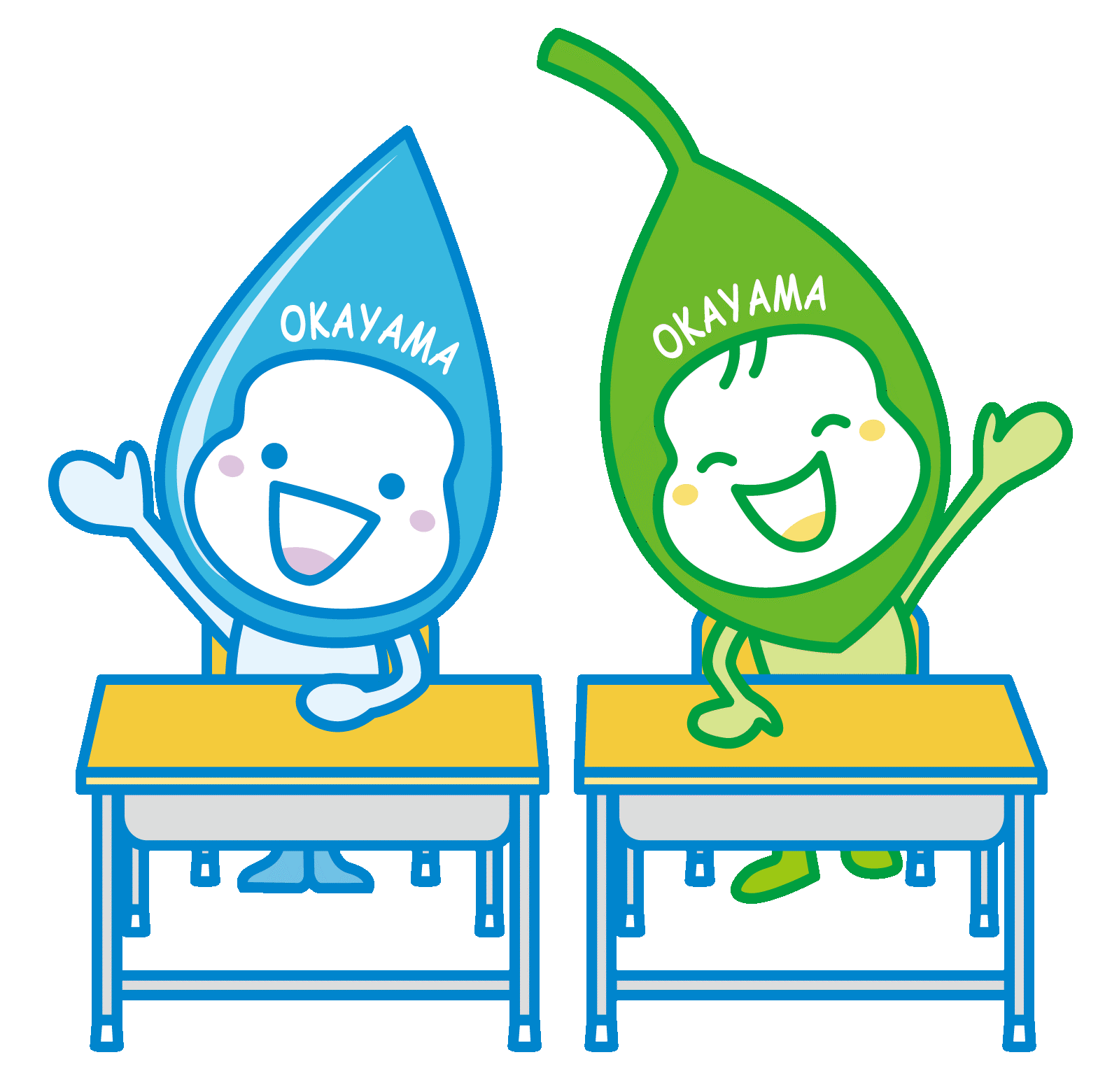
岡山市放課後子ども教室推進事業

安全管理マニュアル



|  |  |
| --- | --- |
| 実行委員会名 |  |

【放課後子ども教室実施時の緊急連絡について】

万が一活動時にケガや事故等が発生した場合、以下の流れにより担当課へのご連絡を賜りますよう、お願い申し上げます。

１　緊急連絡が必要なケース

放課後子ども教室の活動時（各種教室、自由遊び、実行委員会、あるいはこれらの活動に必要な準備や打ち合わせ、往来も含む）において、以下事例が発生した場合

（１）児童・生徒、保護者参加者や運営スタッフが急な疾病または負傷した

場合で、救急車による搬送や病院への受診を伴う応急処置を行った場合

（２）警察や消防への通報を伴う対応を行った場合

２　緊急連絡時にご報告いただく内容（該当する項目のみ）

（１）疾病を発症あるいは負傷した者に関する氏名、学年（年齢）、連絡先

（２）（１）に関してその場で行った主な処置

（３）事故や破損の起こった状況

（４）（１）～（３）について、確認のため連絡をした場合、回答できる関係者

（地域コーディネーター、実行委員会会長、その活動の責任者など）の氏名及び連絡先

※これらの情報は、担当課が把握しておくべき情報としてご提供いただくものであり、第三者に伝える目的を有するものではありません。

※これらの情報は、学校や公民館など、運営に関わってくださる教職員や施設職員の方に確実に連絡＆報告を行えるよう、以下の流れに沿った連絡体制を今一度ご確認ください。

３　緊急連絡の流れ

担当課への連絡

　地域子育て支援課 放課後児童対策係

086-803-1589 （平日日中）

市役所代表　086-803-1000

（平日夜間・土日祝日）

**事故等**

**発生**

発生した事象の

連絡＆報告

応急処置・医療機関への搬送

警察への通報　等

小学校等施設関係者への連絡

〈安全管理チェックリスト〉

　　　　年　　月　　日

（実行委員会名：　　　　　　　　　　）

（確認者氏名：　　　　　　　　　　）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| № | 項目 | チェック欄 |
| １ | 遊具や器具の安全点検は行ったか。 |  |
| ２ | 不審者情報や災害の警報･連絡は出ていないか。 |  |
| ３ | 応急手当用品（救急箱）はそろっているか。 |  |
| ４ | 子どもたちがけがをしそうな場所はないか。 |  |
| ５ | 健康面、情緒面で配慮する子どもの把握はできた（できている）か。 |  |
| ６ | 活動内容の安全管理について地域コーディネーターや協働活動支援員、協働活動サポーター同士共通理解できたか。 |  |
| ７ | 活動内容として特に気をつけなくてはいけない点についての準備・確認はできたか。 |  |
| ８ | 活動前に、子どもたちに安全管理面での指導がなされたか。 |  |
| ９ | 子どもたちの様子に異変はないか。 |  |
| １０ | 天候の急変や活動場所周辺で事件の発生等は起きていないか。 |  |
| １１ | 子どもたちの帰宅にあたって問題はないか。 |  |
| １２ | 参加している子どもの保険加入はできているか。 |  |
| 状況・  気付き | ※けがや病気の状況、ヒヤリとした状況、その他気づいた点をメモしておきましょう。 |  |

* 放課後子ども教室の状況にあわせて必要な項目があれば付け加えてください

ケガ・急病が発生した際の行動表

ケガ・急病の発生

近くにいる地域コーディネーター・協働活動サポーター等が対応

応急処置

他のスタッフ等にも連絡

（例）

意識がない

骨折している

頭部を強打

血が止まらない

重　度

軽　度

医療機関に搬送

（１１９番通報）

経過観察

保護者への連絡

病院の受診

保護者への連絡

関係機関への連絡

他の子どもの対応

搬送車へ同乗

付き添い

医療機関への事故発生時の状況説明

保護者へ報告

診断結果の確認

診断結果を踏まえて、保護者・関係機関へ報告連絡

診断結果の確認

詳細の連絡

地域子育て支援課：（直通）086-803-1589

* 土曜日等は、(代表)086-803-1000へ

不審者が現れた際の行動表

関係者以外が、

敷地内へ立ち入り

退去を求める

※複数職員で対応

案内する

不審者かどうか確認

危害を加える恐れ

・周囲に不審者侵入を知らせる

・子どもたちを危険がないと思われる方向へ避難させる。

・再度退去を要請

・児童が全員いるか確認

しばらく行動を注視

再度侵入した

あ　　り

再度侵入した

・直ちに警察へ通報

・小学校へ連絡し、応援要請

・子どもたちを安全な場所へ

不審者が室内に侵入

　→児童は小学校職員室等へ

不審者が屋外にいる

　→児童は教室から出さない

※入口とは別の避難経路を確保しておく

・児童が全員いるか確認

警察が来るまでの間は、子ども及び職員の安全確保を第一に対処

けが人の確認

応急処置

119番に通報

保護者、関係機関に連絡

児童はお迎えで帰宅できるよう連絡する

警察の到着

火災が発生した際の行動表

火災発生！

第一発見者は、大声で周囲に火災の発生を知らせる。

* （可能なら火災の場所も一緒に）「○○で火事だー！」と複数回叫ぶ

**緊急連絡**

119番通報

小学校へ連絡

（℡：　　　　）

**初期消火**

危険を感じる場合は無理せず避難

炎が天井に届いたら消火器での消火は不可

**児童対応**

子どもたちを落ち着かせる

火元に近づかせない

※屋外で活動中の

　児童については、避難場所に

集合・待機させる。

**施設内の確認**

・児童が誰も残っていないか確認

・窓を全部閉める

**必要物の持ち出し**

・出席簿

・保護者緊急連絡先一覧

・救急箱　など

**避難誘導**

・身を低くし、ハンカチを鼻・口に当て落ち着いた行動を指示

・「おはしも」を徹底

・支援を要する子どもの補助

※

「お」さない

「は」しらない

「し」ゃべらない

「も」どらない

・児童の点呼補助

・周囲の安全確認

・関係機関への連絡

地域子育て支援課

（086-803-1589）

・児童の点呼補助

・人員に余裕があれば、緊急車両の誘導を行う

・児童全員の点呼

・負傷者の確認

・応急処置

※負傷者対応等には人手が必要。人員を多く割く

※負傷者対応等には人手が必要。

人員を多く割くようにする。

**保　護　者　へ　連　絡**

必ず全保護者へ連絡をとり、状況を説明。帰宅については、可能な限りお迎えが望ましい。集団での帰宅が必要な場合は、児童の健康状態、保護者の意向をよく確認したうえで行う。

地震が発生した際の行動表

放課後子ども教室で活動中に地震が発生

地震発生

教室：頭部保護。机の下等へ避難　　運動場：建物から離れる。中央に集

　　　避難経路の確保　　　　　　　　　　　　まり、体勢を低くする

体育館　：中央に集まり、体勢を低く　　プール：プールの縁を掴む。揺れが

　　　　　する（天井吊り下げ物に注　　　　　　収まったらバスタオル・靴

　　　　　意）　　　　　　　　　　　　　　　　を身に着け避難

安　全　確　保

揺れがおさまるまで待ち…

**必要物の持ち出し**

・出席簿

・保護者緊急連絡先一覧

・救急箱

・緊急ラジオなど

**施設確認**

・避難経路を確保（窓、ドアを開ける）

・ガスの元栓を閉め

ブレーカーを落とす

**児童対応**

・児童の点呼

・避難誘導

・頭部を守り、靴を履いて行動

・支援を要する子どもの補助

避難（避難場所は学校の扱いを参考に）

津波の恐れがある場合は、想定にこだわらず、さらに高台に避難

な　し

教室周辺の安全を確認して活動再開

各種警報・避難指示

・児童の点呼

・安全確認

・情報収集

被害等があった場合は会長・代表者、地域子育て支援課まで連絡（086-803-1589）

**保護者へ引き渡し**

電話等が使えない場合は171（災害用伝言ダイヤル）等を活用

児童を避難場所から動かさず、保護者へ連絡

迎えが来るまで待機

放課後子ども教室へ来る途中（学校下校中）に地震が発生

地震発生

安　全　確　保

揺れがおさまるまで待ち…

児童の下校状況の確認

学校へ連絡を取り、下校状況を確認（℡　　　　　　　　　）

学校

**小学校と連携・協議**

放課後子ども教室へ来るか、学校で待機するか確認・把握する

把握した情報について、保護者へ一報を入れる

**児童の所在確認・安全確保**

学校から放課後子ども教室までの経路を確認。児童の所在を調べる

児童発見の場合は安全確保を図る

**避　難　誘　導**

すでに放課後子ども教室に来ている児童の安全を図りつつ、所在のわからない児童がいないよう可能な限り所在把握を行う

**保護者へ連絡**

保護者へ避難先を連絡。電話が通じない場合は、171（災害用伝言ダイヤル）等を活用

**保護者へ引き渡し**

＜緊急時連絡体制表＞

実行委員会会長

TEL：

地域コーディネーター

協働活動サポーター等

小学校

TEL：

保護者

地域子育て支援課

TEL：（直通）086-803-1589

（土曜日等は（代表）086-803-1000）

消防・救急

TEL：119

警察

TEL：110

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 医療機関名等 | 電話番号 | 診療時間  休診日等 |
| 内　　科 |  | ℡ |  |
| 外　　科 |  | ℡ |  |
| 整形外科 |  | ℡ |  |
| 眼　　科 |  | ℡ |  |
| 耳鼻咽喉科 |  | ℡ |  |
| 歯　　科 |  | ℡ |  |
| タクシー会社 |  | ℡ |  |

＜緊急通報対応表＞

救　急　車　　119　番

警　　　察　　110　番

放課後子ども教室名・担当者名

放課後子ども教室の所在地　　　岡山市　　区

放課後子ども教室電話番号　　　（　　　　）　　　　　－

1. 救急車への連絡



はい119番消防です。火事ですか？救急ですか？



救急です。

場所はどこですか？

岡山市　区　　　　　　　　　です。

　　　　小学校から連絡しています。

なにがありましたか？

（オペレーターの指示に従い、症状等を説明）

あなたのお名前と、電話番号を教えて下さい。

　　　　　　　小学校にある放課後子ども教室の○○です。

電話番号は　　　　　　　　　　　　　です。

その他、目印になる物、救急車がどこから進入できるか、停車可能な所はどこか等が伝えられる様にしておく。またできれば日頃からAEDの設置場所・使い方も確認しておく。（※救急車到着までに、使用を指示される場合もあるため）

1. 消防車への連絡



はい119番消防です。火事ですか？救急ですか？



火事です。

場所はどこですか？

岡山市　区　　　　　　　　　　　です。

　　　　　　小学校から連絡しています。

何が燃えていますか？

小学校の　　　　が燃えています。

火元、避難状況、けが人の有無について、聞かれることもある。

あなたのお名前と、電話番号を教えて下さい。

　　　　　　　小学校にある放課後子ども教室の○○です。

電話番号は　　　　　　　　　　　　　　です

連絡後は速やかに避難。

また、消防隊到着後は、ガソリン等の危険物の有無、高圧ガス、高圧電気設備などの、消防活動の障害になるものの情報も伝える。

1. 警察への連絡



はい110番です。事件ですか、事故ですか？

事件です。（または、事故です）

不審な人が施設にやってきています。

すぐに来てください。



その他、泥棒、器物破損など、どんなことがあったか簡潔に伝える

　　　犯人等が去っておらず、至急来てほしい時はその旨を最初に伝える

いつのことですか？場所はどこですか？

　　　発生した時刻、場所を正確に伝える

どんな様子ですか？

　　　被害や、負傷者の有無、けがの程度、事件の経緯等を説明

（既に不審な人物が逃走していた場合）犯人は？

　　　何人いたか、人相着衣は、何を持っていたか、年齢、背の高さ、どこに逃げたか等を説明できるようにしておく

あなたのお名前と、電話番号を教えて下さい。

　　　小学校放課後子ども教室の　　　です。

電話番号は　　　　　　　　です。

不審者等がまだ現場にいる状態で、110番通報した場合は、「犯人の持ち物」、「服装」、「年齢」、「性別」、「体格」、「今どんな状況になっているか」等を電話を切らず、警察到着まで伝え続ける必要も出てきます。

特に、「犯人の持ち物（凶器等）」については、その内容によって、駆け付ける警察が必要とする装備が替わってくるので、意識して伝えて下さい。

事後処理について

事件や事故の事後処理として、実行委員会は次のような業務を行う必要があります。

**（１）記録の作成**

発生した事件や事故については、客観的に記録することが必要です。

①発生時の状況

時刻、場所、だれが、どのようなことが起きたかをできるだけ詳しく記録します。

場所については図で示すことが適切です。

②対応状況

応急処置の状況、医療機関への搬入状況、警察等関係機関等への通報の状況等時間の経過を追って記録してください。

**（２）子どもや安全管理員、ボランティア等への対応**

①対応における留意点

思いもかけない事故や事件があったことで、身体だけでなく心も傷つけられることがあります。事後の状況を把握するとともに、必要に応じて心理カウンセラーなどの専門家の支援を仰ぐことも考えられます。

②保険に関する事務処理

事件や事故により、けが等が発生した場合は、保険会社に連絡し、治療費の支払い等適切な対応がなされるよう、実行委員会において事務処理を行う必要があります。

**（３）保護者への対応**

保護者へは、事件や事故後における説明の後、状況によってはその後の対応状況等説明をする必要があります。その際、常に誠意を持った態度で臨むことが必要です。

　　また、多数の保護者に説明を要するような場合には、保護者会をしたほうがよい場合も考えられます。

**（４）原因の調査と再発防止策の検討**

実行委員会には、現場の確認や子ども教室関係者から聞き取りを行い、原因を明らかにすることが求められます。また、再発防止のために、対応策を検討する必要があります。

　　原因調査は、再発防止のために行うもので、個人の責任追及を行うためのものではありません。その点には十分気をつけてください。

（　　　　　　　　　　　）放課後子ども教室　事件・事故記録用紙

記録日　　　　　　年　　　月　　　日（　　　）

|  |  |
| --- | --- |
| 記録者氏名 |  |
| 発生日時 | 年　　　月　　　日（　　）　　時　　　　分ごろ |
| 発生時の状況 | 時刻、場所、だれが、どのようのことが起きたかできるだけ詳しく記録します。  場所については図で示すことが適切です。 |
| 対応状況 | 応急処置の状況、医療機関への搬送状況、警察等関係機関への通報状況等。  時間経過を追って記録してください。 |

参考文献

・岡山市放課後児童クラブ　安全管理マニュアル作成の手引き

・地域子ども教室推進事業「安全管理マニュアル」　　文部科学省

・千葉県　放課後子ども教室安全管理マニュアル　　　千葉県教育委員会

・熊本県地域子ども教室安全管理の手引き　　　　　　熊本県教育委員会